



第361号

2016年10月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行



いつくしみの特別聖年 2015年12月8日〜2016年11月12日

10月23日は世界宣教の日・献金 「世界宣教の日」は、すべての人に宣教の心を呼び起こさせることと、世界の福音化のために、霊的物的援助をはじめ宣教者たちの交流を各国の教会間で推進することを目的としています。この日の献金は各国外からローマ教皇庁に集められ、世界中の宣教地に援助金として送られます。日本の教会はまだまだ海外から援助を受けていますが、経済的に恵まれない国々の宣教活動をさらに支援できるように成長していきたいものです。

教区ホームページ

福音のひびき

- 10月の説教者
2日 年間第27主日 平田 豊彦 (布池教会)
9日 年間第28主日 森山 勝文 (平針教会)
16日 年間第29主日 石脇 秀俊 (東海教会)
23日 年間第30主日 ヤン・チェンユアン (南山教会)
30日 年間第31主日 新立 大輔 (五反城教会)

名古屋教区平和旬間「平和の集い」
中高生代表が杉原千畝記念館訪問とヒロシマ巡礼を報告
WYD (ワールドユースデー) 参加者5人が貴重な体験談を報告



WYD (クラフ大会) の報告をする参加者



杉原千畝記念館訪問を報告する中高生会

名古屋教区「平和の集い」が8月7日、司教座聖堂布池教会で行われた。
中高生代表が春のフォーラムで見学した杉原千畝記念館と、8月4〜6日のヒロシマ巡礼参加の体験を報告した。彼らは杉原千畝の「命のビザ」の発給を、イエスの教える隣人愛に通じるものと捉えていた。ヒロシマ巡礼では原爆投下の地に立ち、祈りながらその地を進行することによってしか得られない貴重な体験をしていた。
次はワールドユースデー(ポラード7月26〜31日)に参加した5人と同行した増田神父、Sr今村の報告があった。教皇ラファエリ(ポラード7月26〜31日)に爆発した数万人の人々が命を落とした広島、ナチスによって多くの人が死に追いやられたその場所では、非人間的な闇の世界であったが、命のビザを発給し多くの人々を救った。
大きな折り鶴に参加者が平和へのメッセージを書き込み、それを奉納して平和への願いを神にささげた。参加者は若者から貴重な分かち合いをいただき、より平和の道具となれるよう恵みを祈った。
(名古屋教区社会福音化推進部)



原爆投下から71年目を迎えた広島教区では、8月5〜6日と9日、「今こそヒロシマから〜神のいつくしみの道具となるう〜」をテーマに平和行事が開催された。名古屋教区から成人信徒8人、中高生グループ24人の計32人が参加した。今年も預かった千羽鶴を無事奉納することができた。また、「平和をつなげる!」のプラカードを掲げて、歌を歌いながら平和ア

2016 信徒使徒職協議会 広島巡礼に参加して

和」という大きなテーマに立ち向かう心境を語ってくれた。
改めて、「平和」という考えを考へさせられた。
「戦争がない」、「毎日が、安心して暮らせる」、「衣食、住が満ち足りている。
(岐阜教会 川端健市)

南山教会で 第8回平和祈念の集い 「知らされていない戦争の実態」



南山教会信徒、鳴海教会信徒などの有志主催による「平和の集い」が8月7日、南山教会マリヤ館で開かれ90人が参加した。
戦後71年を迎え、知られざる戦争の実態を体験者から話を聞くこと、私たちが大事にしている「平和をつなげる」ではないかという観点から、今回は捕虜として抑留され貴重な体験をお

### 祝！カトリック各務原教会献堂

#### 「教会とは建物のことではなくて、キリストを信じる者の集まりを教会という」



新聖堂を祝別される松浦司教

カトリック各務原教会（主任司祭／ジョン・グラハム神父）の新聖堂が完成し、8月13日、松浦悟郎司教によって献堂式と記念ミサが執り行われた。濃尾ブロックに属する小教区主任司祭の他、遠くは東京や福井から、信者が多数参列し、聖堂内は補助いすを並べての対応となった。



松浦司教は、グラハム神父の案内で建物の外を廻り、その後、聖堂内に

戻り、同様に床と壁を、そして、祭壇への撒水と献香を行った。祭壇には真新しい布がかけられた。松浦司教は説教で、「今日は教会について考えてみたいと思います」と切り出し、「教会とは建物のことではなくて、キリストを信じる者の集まりを教会といいます。キリストを信じる者の集まる場所に、キリストがいらっしゃる。そして、神様の思いを表現して、それが教会の第一の意味」と説明した。そのことを本堂に生きるために、「私たちはこのように目に見える聖堂の中で集まり、祈り、神と深く交わり、喜びを持って人々のところへ出て行く。そのために、私た

ちはこのような祈りの場、教会として人々の集まる場というものを必要とします」と話した。そして、「いつくしみの特別聖年」の間にこの建物ができたことは大きな意味があると言及した。また、教皇フランシスコの言葉、「閉じてはならない」を挙げ、開かれた教会であることを促した。「閉じたなら、閉じた外にいる人たちのことには心が行かないからです。開いて外に出て行ったら、私たちは汚れたら、傷ついたりするかもしれない。けれど、閉じて病んでしまう教会より、喜んで開いて、人々の中に入って傷つく教会になる方がいい。そうならましよう」と呼びかけた。そして、「私たちは、キリストの思いを、神のいつくしみを、社会の中に、人々の中に表現していく使命を担っているというのを忘れてはいけません」と促した。

福音はルカ福音書から、ザアカイの話が朗読された。司教は「ザアカイ、わたしは今日、あなたの家に行く。それは、私たちが日常の中で弱い者であったり、あやまちを犯す人間であるにもかかわらず、私たちが教会に来る、イエスに出会う、という意味でもあります。いつも開かれた教会に来て、恵みを受け、うれしくなっていくように立ち上がる。『神に感謝』と言って、ここから出発して行くのです。この聖堂はそのためにあります」と話した。

### 第11回日本カトリック聴覚障害者の会・名古屋大会を開催

#### 「神さまの愛を心に名古屋から！」

第11回日本カトリック聴覚障害者の会名古屋大会が8月27・28日、布池教会とホテルメルパルクにて開かれた。全国大会が名古屋で開かれるのは21年ぶりのこと。

開会宣言の後、日カ聴会会長の久保肇さん、大会実行委員長の斉藤寛子さん、日本カトリック聴覚障害者の会顧問司教のラファエル梅村昌弘司教と名古屋教区長ミカエル松浦悟郎司教があいさつした。

記念講演は、仙台教区第五地区担当司祭の森田直樹神父が「神のいつくしみの中で」の題で話した。いつくしみの特別聖年の終わりを4か月後に控えた今考える、神と人とのかわり、回心の本当の意味などを、ご自身の経験などを、大きくわかりやすい手話と声で話された。



講演会で熱演する森田直樹神父

「回心」のギリシャ語「メタノイア」を逆から読むと「アイノタメ」となる。愛の為に回心するのだとある神父様から教えられた話、放蕩息子のたとえから回心の意味を探る話など、心に響く講演であった。

ホテルメルパルクNAGOYAに会場を移しての交流会では、実行委員会が「よういりやあた名起こり、私



たちも誰かのよき隣人に」とのメッセージが伝えられた。最後に、松浦司教のギター伴奏による歌「愛をありがとう」、「アーメン・ハレルヤ」の大合唱、長崎の鐘の手話歌の披露があり、楽しいうちに解散となった。

翌28日の総会では、第11期の予算・活動内容の議事では活発な議論が交わされた。また、新代表者、手話研究委員、役員選出では、新メンバーが満場の拍手をもって

て迎えられた。3年後に全国大会を開催する東京教区への引き継ぎなどもあった。（稲沢教会 入口母絵）

### 恵方町教会で 堅信と初聖体のお祝い



8月14日、恵方町教会のミサの中で、松浦悟郎司教によって8人の堅信と4人の初聖体が行われた。受堅者は、1名のベトナム人男性と2名の日本人女性、そして3名の日本人女性。この中には、ベトナム人仲間の信者たちの影響で、信仰共同体を異国で働く心の支えとし、その交わりの中で徐々に神とふれあい、信仰を得た人や、将来を共に

にする方の信仰を共有するという意味で洗礼を希望した日本人の若者もいた。高齢化が進む教会で、国籍にかかわらず若者が増えることはとても幸いなことだ。説教では初聖体の意味、堅信の意味がとてわかりやすく説明された。聖体拝領の時に司教が子供たちを祭壇近くにあげるように招き、少し緊張気味の子供たち「ご聖体を受けたいですか」と質問すると、子供たちは、照れたり恥ずかしがりたりしながらも、「ハイ」と力強く答えていた。可愛い白いベールやカチューシャ、白衣を身にまとい、初々しく聖体を受ける姿は感動的だった。（恵方町教会 吉川望）

## 教会の扉を開こう

## 富山教会で熊本地震・東日本大震災支援 チャリティーコンサートを行いました。



8月20日午後、35度近い猛暑日の中、富山教会の聖堂にバツハンサンブル富山合唱団30人の歌声が響いた。バツハのミサ曲を中心に聖歌やドイツ民謡の《野ばら》など、素晴らしい演奏が披露された。

2時間にも及ぶ熱のこもった合唱とピアノの独奏もあり、聴衆からは「素晴らしいかった」との感想が聞かれた。

コンサート開始前に田中英次神父より「決して他人事とは思わず、常に被災者に寄り添う心を持ち

ましよう、時が経つても震災を風化させてはならない」との言葉も伝えられた。

富山教会では、被災した多くの方々のために、微力ながら今後もいろいろな形で支援したいと思っている。

いただいた義援金はカリタスジャパンを通して、岩手県大船渡ベースと熊本地震支援へ送りました。

暑い中、お手伝い頂いた信徒の方々に、この書面をお借りして感謝申し上げます。沢山のご協力ありがとうございます。カトリック富山教会 信徒会長 阿部裕二

## 名古屋教区障害者のつどい 「障害をわかちあおう」

～聴覚障害とは～



31回目となる名古屋教区「障害者のつどい」が7月17日、岐阜県多治見教会で開かれ、約150人が参加した。主催は名古屋教区社会福祉委員会と障害者連絡会。主日ミサに先立ち、富永諒実行委員長(カトリック名古屋市長)が挨拶した。

聴覚、知的、肢体、精神などに障害がある人たちが担当した。聖堂には手話通訳やスクリーンを使っての要約筆記も用意されていた。

聖堂前の芝生広場で行われた昼食・交流会では、多治見教会の「かつぼう着隊」による災害食の「おもてなし」や、浪曲子守唄に合わせた信

徒による劇もあった。その後、聖堂で、「聴覚障害者の会」会長の斉藤寛子さんが、「伝える」をテーマに講演。日常生活で困っていることや、教会に手話で話が出来た人がたくさんいてほしいという願いなどを語った。

また、手話を習い始めた頃に1年かけて作った手話のイラスト集を披露した。講演中、聴覚障害者による寸劇もあり、松浦司教がその内容を言い当てるという場面があった。

この日は聴覚障害の疑似体験もあり、数人がミサの途中やミサ後の行事中、イヤホンをつけ、外部の音を遮断した状態で過ごした。その疑似体験者と介助者の体験発表が高校生を含む5組によって行われた。疑似体験者からは、「何を言っているのかさっぱり分からなくて、ひとりぼっちという感じがした」、「災害の時、どんな方法でも良いからコミュニケーションをしてほしいと思った」、「介助者が伝えようとしていることがうれしくて、たとえ伝わらなくても、そういう姿勢が大事かな、と思った」。介助者からは、「ジェスチャーで伝え合ったが、相手の思いを少しでも理解しようという気持ちになっただけ、全部伝えなくても、ゆっくり自分の思いを伝えたい方がいかな、と思った」、「初め、伝えるのは難しいし、正直めんどくさいとも感じた。しかし、相手が分かるようにしてくれているし、投げ出さないう工夫をして伝えていくという思いになった」などの報告があった。

松浦司教は、「(すべての人に)その人にしかない素晴らしいものがある。それを生かしながら素晴らしい社会になると思う。私たちの目を大きく開かせてくれるという集いを大切にしたい

きた。教会自身も変わっていかねばならないと思った」と感想を述べた。

最後に、全員が広場で練習をした「アーメン・ハレルヤ」を、松浦司教のギター伴奏で手話を交えて大合唱した。

## 名古屋学院大学と同国際文化学部 公開シンポジウム

世界につながるー国際結婚家族と私たち  
Linking with the World: Cross-Cultural Families in Japan

日本人と結婚して地域で暮らす外国出身者が増えている昨今、国際結婚の家族も身近になってきました。国際結婚の家族に対する支援政策が整った韓国からゲストを迎え、実情を聴き、日本における支援の在り方やとにも生きることの大切さを考える公開シンポジウムが7月16日、名古屋学院大学の名古屋キャンパス白鳥学舎で開かれた。

シンポジウムは3部になっており、総合司会は金愛慶(名古屋学院大学スポーツ健康学部教授・膳棚教会信徒)さんが務めた。

名古屋学院大学学長・木船久雄さんの開会のあいさつに続き、愛知県県民生活部社会活動推進課多文化共生推進室長・宮澤裕子さんがあいさつした。

第3部で「韓国の国際結婚家族・支援そして日本」と題して金愛慶さんが講演した。講演のなかで「韓国の国際結婚と多文化家族の現況や多文化家族支援政策と特徴」

などを発表した。

当日のシンポジウムを聴講した寺尾總一郎神父(膳棚教会主任)の感想を一部紹介します。

「グローバル化のなかで、国際結婚は、数ある友好関係の中で、一番親密なものだと思いますし、その数が増えていることはよいことだと思います。とはいえ、全体の結婚のなかでは、まだ一般的ではないために、(特に地方では)当事者ご本人とそのお子さんたちは世間の無理解のために、たいへんなこともあると思います。国際結婚のゆえにこそ有利な点を生かして、国際関係分野で活躍していただけるように。そのために、法整備、行政のバックアップなど、公的にも進展しますように。

カトリック教会の中でも、中央、教区レベルで種々の団体が活動しておりますが、昨日のシンポジウムに関係しておられる個人・グループ・組織などと連携できるとよいと思います」

### 第79回聖霊病院 秋の聖書週間

期間 10月17日(月)～22日(土)  
テーマ 神のいつくしみに支えられて

- 10月17日(月) 17:15  
聖書の集い 講師: 荒田揭示氏(神言会神学生)
  - 18月18日(火) 16:30  
南山大学附属小学校聖歌隊コンサート
  - 10月19日(水) 15:30  
講演会 神のいつくしみに支えられて 講師: 中川博道師(カルメル修道会司祭)
  - 10月20日(木) 15:30  
Grace of the Holy Spirit コンサート
  - 10月21日(金) 17:15  
聖書週間記念ミサ 司式 ミカエル松浦悟郎司教
  - 10月22日(土) 14:00  
DVD鑑賞「風に立つライオン」 主催・カトリック看護協会名古屋支部
- その他・期間中
- 3号棟: 神のいつくしみに支えられて展示
  - 3号棟エレベーター前: 聖霊病院華道部作品展示
  - 玄関ホール: キリスト教書籍、絵本、カード、手作りクッキーなど

お一人でも多くの皆様のご来場をお待ちしております。  
交通 地下鉄鶴舞線いりなか下車1番出口徒歩2分  
問合せ 聖霊病院カトリック社会事業室 担当・Sr 三根 名古屋市昭和区川名山町56 ☎052-832-1181

### 第44回名古屋教区典礼研修会

“心をこめて神を仰ぎ、賛美と感謝をささげましょう”

日時 10月10日(月・祝) 10:00～16:00 受付は9:30分、15:30分閉会ミサ  
場所 カトリック南山教会マリア館  
テーマ 典礼の音楽  
講師 南雲正晴師(フランシスコ会司祭、日本カトリック典礼委員)  
申込締切 10月2日(日)  
申込方法 配布済の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX (052-804-8878) してください。  
問合せ先 052-831-9131(ケレハ神父) E-MAIL: litqanda@ndlc.jp(典礼委員会事務局)

### 第12回研修セミナーのご案内

テーマ「平和をつなぐ…私、そして私たちの選び」

今のこの世の動きの中を わたしたちは本当に真剣に考えているのでしょうか。今 わたしたちは障がいがある無いかかわらず 一人の人間として、「平和とは何か、平和を次の世代につないでいくためには…」と、松浦悟郎司教様とご一緒に考えていきませんか。

日時 11月19日(土) 午後1時半～4時半  
場所 カトリック南山学園研修センター 〒466-0834 愛知県名古屋市昭和区広路町準人30  
TEL 052-837-6466 地下鉄鶴舞線「杖中」下車2番出口 徒歩10分  
講師 松浦悟郎名古屋教区司教 テーマ「平和をつなぐ…私、そして私たちの選び」  
定員 50名 参加費 無料(自由献金)  
申込 資料準備の為、10月31日(月)までに申し込み用紙に必要事項をご記入の上郵送、またはFAXで申込をお願い致します。  
主催 日本カトリック障害者連絡協議会  
申込先・問合せ先 〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15  
名古屋教区社会福祉委員会内 日本カトリック障害者連絡協議会  
TEL (052)852-1426 FAX (052)852-1422 担当: 村上

### 第31回 わだちまつり開催!!



今年の日カ連年間テーマ「父の家に帰ろう」その方法が可能なかを、コリンツの手紙12章14、24節(からだのたとえ)を引用して話した。「コミュニケーション」とは抽象力(目に見えない)を養い、同じ価値観を共有して、同じ方向を見ること。楽譜の中の1音符でも欠如すると音楽は成り立たないように、支え合って、つながり合って生きていること。共に祈る夫婦は長続きすると言われるが、祈りを通していただいた恵みは、イエスの励まし呼びかけに込めることであり、恵みを受け止めて分かち合って広めて行くことである。

「神の国」の実現に向けて」と題して講演した。共に関心ある者として、樹の会からは熊本地震に対して10万円の義援金を送られた。08年から始めたキャラバン活動は23小教区を訪問し、交流を深め、訪問先では手作りの品を「岐阜ダルク」支援のために販売した。

「今年も一緒に盛り上がるまいつり」が5月29日、AJU自立の家サリアハウスと恵方町教会を会場に開かれた。31回目

目を迎えた今年のテーマは、「今年も一緒に盛り上がるまいつり」。イベントステージでは中部楽器技術専門学校の楽団による開会のファンファーレと、それに続く「インザムード」の曲に乗って「まいつり」は始まった。グループ「Andante」によるコーラスや名古屋と真ん中祭りの常連「あじゅら」による「よさこい演舞」が来場者を

「まいつり」も大詰めを迎え、豪華商品が当たるビンゴゲーム大会が始まり、番号が読み上げられるたびにビンゴカードを手にした来場者が一喜一憂し、大歓声を上げていた。最後にわだちまつり実行委員長・江戸徹さんが挨拶で感謝の言葉を述べると、会場からはスタッフたちへ盛大な拍手が贈られた。

「マイバイブルⅡ」が、フランススコ会聖書研究所訳聖書(2011年)の本文を用いた改訂版として、9月に出版されました。カトリック教会は今、いつくしみの特別聖年を祝っています。各地の指定聖堂への巡礼と共に、聖書を読み、秘跡に与り、いつくしみ深い神様の救いの業を知り、その語りかけを聞きながらじっくり味わい分かち合うことが勧められています。この本の出版はわたしたちにとって、本当にタイムリーなできごとです。今、真理と愛、そして本物の生き方を心から求めている多くの人々が聖書を取り、読み、味わい、いのちの言葉によって生きようになることを心から願っています。この小さな本、「マイバイブルⅡーみ言葉の宝石箱Ⅰ」は、そのための大きな助けとなるでしょう。(マイバイブルⅡの序文より)

書籍名: MyBible II (マイバイブルⅡ)  
 著者名: 蒲池明憲 (かまち あきのり)(カトリック関口教会信徒)  
 出版社: 株式会社千代田情報システム  
 定価: 600円(税別)  
 取扱店: 女子パウロ会 サンパウロ社 日本キリスト教書販売(株) 及び大手書店で入手できます。是非お求めください。



「樹の会」総会と講演会  
 講演会では市瀬英昭神父が「神のいつくしみ」について語る



「樹の会」総会と講演会  
 講演会では市瀬英昭神父が「神のいつくしみ」について語る



「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

### 新刊書紹介

この度、「いつくしみの特別聖年を記念し「MyBible II」のフランススコ会訳聖書を用いて、全面的に改訂させて頂きました。

### 「MyBible II」

「マイバイブルⅡ」が、フランススコ会聖書研究所訳聖書(2011年)の本文を用いた改訂版として、9月に出版されました。カトリック教会は今、いつくしみの特別聖年を祝っています。各地の指定聖堂への巡礼と共に、聖書を読み、秘跡に与り、いつくしみ深い神様の救いの業を知り、その語りかけを聞きながらじっくり味わい分かち合うことが勧められています。この本の出版はわたしたちにとって、本当にタイムリーなできごとです。今、真理と愛、そして本物の生き方を心から求めている多くの人々が聖書を取り、読み、味わい、いのちの言葉によって生きようになることを心から願っています。この小さな本、「マイバイブルⅡーみ言葉の宝石箱Ⅰ」は、そのための大きな助けとなるでしょう。(マイバイブルⅡの序文より)

書籍名: MyBible II (マイバイブルⅡ)  
 著者名: 蒲池明憲 (かまち あきのり)(カトリック関口教会信徒)  
 出版社: 株式会社千代田情報システム  
 定価: 600円(税別)  
 取扱店: 女子パウロ会 サンパウロ社 日本キリスト教書販売(株) 及び大手書店で入手できます。是非お求めください。



「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

「神のいつくしみ」を  
 理解するには、神と人との出会いのか。神と人は

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ

「ロザリオの祈り」

日時 毎月第2日曜日 午後2時から。
10月9日、11月13日、12月11日
場所 聖パウロ女子修道院チャペル

「読書会」

日時 毎月第3土曜日 午後2時～3時30分
10月15日、11月19日、12月17日
場所 聖パウロ書院

対象者 どなたでも参加できます。
問合せ 聖パウロ書院 ☎052-936-4443 担当・Sr 永峰、Sr 森

カトリック春日井教会設立50年

春日井教会設立50周年記念感謝ミサが捧げられます。
50周年を祝い名古屋教区の皆様、是非ご参列下さいませよう
ご案内します。

日時 11月13日(日) 午前10時より
会場 カトリック春日井教会
春日井市六軒屋町西3-9-2
☎0568-81-8198 (教会代表)

主催・問合せ カトリック春日井教会設立50周年実行委員会

「遠藤周作を読む会」開講のお知らせ

遠藤周作の作品を通して、私たちの中に潜んでいる温かい
人間性が見いだされると同時に、現実の中で様々な困難に
遭遇し途方に暮れている私たちが慰められ、また勇気づけら
れると思います。

今年2016年は、遠藤周作没後20周年と『沈黙』発行50周年
の記念の年です。「遠藤周作を読む会」をご紹介しますので
皆様どうぞご参加ください。

日時 毎月第1土曜日 午後2時～4時(変更有)
初回は2016年10月1日(土)

場所 南山大学・南山宗教文化研究所
連絡先(申込先) 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
南山大学人文学部 教授:金 承哲
☎052-832-3111 Fax 052-833-6157
メール: sechkim@gmail.com

遠藤周作(1923～1996)は、日本におけるキリスト教信仰の
可能性を探った信仰者であり、日常の中で「母なるもの」の
まなざしを見い出そうとした小説家です。

宣教司牧評議会城東ブロックの集い

城東ブロックの集いが開かれます。当日は松浦司教様の講演
会があります。是非ご参加いただき、講演に耳を傾けてください。

日時 9月25日(日) 午後1時30分～受付 午後2時～3時30分
会場 カトリック南山教会大聖堂

講演者 ミカエル松浦悟郎司教
テーマ 「国籍を超えた 神の国をめざして」
入場 無料 終了後にマリア館でティーパーティがあります。
主催 宣教司牧評議会城東ブロック
問合せ 南山教会 ☎052-831-9131

第13回 AJU ワインフェスタ in 多治見修道院



～AJUの扱う各国ワインを青空のもと味わう～

日時 11月3日(木・祝) 雨天決行
午前9時30分開場 10時開始～午後2時30分終了
場所 神言修道会多治見修道院 岐阜県多治見市緑ヶ丘38
内容 島幸子のワインセミナー、2016年新酒ワイン販売等。
食事・ワインに合うチーズ、パン、お肉など盛りだくさんの出店。

参加費 屋外ライブ ケン・バルデイス、河原崎辰也ほか
前売り3,000円(当日3,500円) ワイン1本付き、記念
ワイングラス付き。なお未成年者は入場無料、ソフトドリンクは有料。

交通 JR多治見駅北より午前9時より臨時シャトルバス
を運行。駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

在来コミュニティバスはJR多治見駅南口より運行。
車いすをご利用の方はリフト付き送迎車両をJR多治見駅北口⇄多治見修道院で運行【無料】。
徒歩約30分

申込先 社会福祉法人 AJU 自立の家 AJU ワインフェスタ
実行委員会

問合せ TEL: 0568-79-3001 FAX: 0568-79-3002
小牧ワイナリー内 AJU ワインフェスタ実行委員会

名古屋一日静修

神のいつくしみに学ぶ ― 特別聖年を迎えて ―

日時 11月23日(水)「神のいつくしみの生きた証人となれ...
(福者フランシスコ・パラウと他)」
Sr. ポーリン・フェルナンデス (カルメル宣教修道女会)

場所 カトリック日比野教会 信徒会館
(地下鉄・名港線「日比野」駅下車 徒歩約5分)

参加費 1,000円
持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、お弁当
プログラム

- 10:00 導入の祈り(聖堂)
10:20 第一講話(信徒会館)
11:30 念祷① 赦しの秘跡または面接
12:00 昼食(信徒会館)
12:30 念祷② 赦しの秘跡または面接
13:00 第二講話
14:00 念祷③
14:30 ミサ(聖堂)
15:30 茶話会(信徒会館)
16:00 終了の祈り

申込み 下記いずれかの方法でお申込み下さい。
Fax / 0568-62-5167
E-mail / seisyuu\_2015@yahoo.co.jp
ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26
「名古屋一日静修」係
<カルメル修道会主催・名古屋カルメル在世会協賛>

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。
暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

Table with 4 columns: 項目, 2011.3.17 発災から 2016.6.30までの合計, 単月明細 7/1~8/31, 2011.3.17 発災から 2016.8.31までの合計. Rows include 収入 (支援金総額, チャリティーワイン販売, 収入合計) and 支出 (カリタスジャパンへ, さいたま教区, オールジャパン会議交通費, etc.).

(※1) チャリティーワインとは 司教着座記念ラベルワインと3.11東北震災支援ワインを販売。
1本2000円で販売し内500円が災害支援金となりました。
ご協力ありがとうございました。

★名古屋教区は「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」と
NPO法人「障がい者自立センターかまいし」を応援しております。

★支援金振込先 郵便振替用紙にて
口座番号 00880-6-1628
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

(※2) 7,8月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称)
金沢教会 高蔵寺教会 富山教会 (合計) 164,892円

(※3) 支援金振込時、カリタスジャパンへの指定があった為

ご連絡・問合せ先
社会福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422

ユスト高山右近の列福式の日程



教皇フランシスコは、日本のカトリック
教会がかねて念願としていたユスト高山右近の殉教を公式に宣言
する教令に署名し、列福を正式に承認しました。列福式の開催日時、場
所は下記の通り。

日時 2017年2月7日(火) 正午から
式場 大阪城ホール(大阪市中央区大阪城3番1号)
司式 教皇庁列聖省長官 アンジェロ・アマート教皇代理

ユスト高山右近の列福式募金のお願い

ユスト高山右近の列福式が来年2月7日、大阪市の大阪城
ホールで開催されることが決まりました。この列福式の募
金をお願いしています。皆様のご協力をお願いします。皆
様からいただく献金はつぎのように使われます。

- ①新福者の霊性の理解を深めるための企画。
②右近を紹介するメディア類の制作。
③当司教協議会が主催・後援する列福関連の諸行事。
④列福式の開催に関連する諸費用。

送金先 郵便振替 00160-1-483345
(宗)カトリック中央協議会列福献金口
問合せ 〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
日本カトリック司教協議会列聖推進委員会
☎03-5632-4445 Fax 03-5632-4465
注)カトリック新聞より一部転載

ユスト高山右近列福式入場整理券申し込みのご案内

日時 2017年2月7日(火)
場所 大阪城ホール(大阪市)
開場 午前11時、開始正午(要入場整理券)
司式 アンジェロ・アマート枢機卿(教皇代理・教皇庁
列聖省長官)

申込方法 郵送またはウェブサイトから申し込みください。
電話での受け付けは致しません。

申込受付期間
郵送による申し込み
個人またはグループでの参加 10月3日消印～12月22日消印
共同司式を希望する司祭・助祭 10月3日消印～11月30日消印

ウェブサイトによる申し込み
個人またはグループでの参加 10月3日10時～12月22日23時
共同司式を希望する司祭・助祭 10月3日10時～11月30日23時

郵送による申し込み
〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺3-1-8 本町クロスビル7階
(株)JTB西日本 MICE 事業部「ユスト高山右近列福式」係り
ウェブサイト(ユスト高山右近列福式)からの申し込み
URL: https://amarys-jtb.jp/ukon2017

受付完了後、確認メールをお送りします。

申し込みに関する問い合わせ先
(株)JTB西日本 MICE 事業部「ユスト高山右近列福式」係り
☎06-6252-5044(担当:今村、澤村、阿部)
月～金 9:30～17:30(土、日、祝日を除く)
e-mail: just-takayama-ukon@west.jtb.jp(英語による問
い合わせも可)

詳細は配布済み申し込み要領をご覧ください。

その他の行事
場所 大阪カテドラル聖マリア大聖堂(入場自由)
列福式前夜の祈り 2017年2月6日(月) 午後5時
列福感謝ミサ 2017年2月8日(水) 午前10時

2016年名古屋教区合同追悼ミサのご案内

名古屋教区合同追悼ミサをご案内申し上げます。皆様お
誘い合わせのうえご参加下さい。

◆名古屋市立八事霊園内 カトリック名古屋教区霊園
日時 9月22日(木・秋分の日) 14時より(雨天中止)

◆東八事霊園内 第一カトリック墓地
日時 10月9日(日) 13時より灌水・献香に続いてミサ
(雨天中止)

◆東八事霊園内 第二カトリック墓地
日時 11月6日(日) 14時より(雨天中止)

【雨天中止について】

※当日のNHKの朝の天気予報で午後はっきり雨と予想さ
れた場合には、合同追悼ミサは中止。当日11時まで教区
事務所まで電話のお問い合わせに対応させていただきます。
また中止の場合には12時に現地に追悼ミサ中止の看板
を設置いたします。

また、駐車場には限りがあり霊園内への自動車での入場
をお断りする場合があります。公共交通機関をご利用く
ださいようお願いいたします。

問合せ 名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区本部事務局内
カトリック霊園管理事務所
電話 052-935-2223 Fax 052-935-2254

\*お願い\*
○名古屋市霊園管理事務所のご指導により墓地への納骨の
際は、申請・許可が必要です。八事霊園の方は、事前に
教区本部事務局墓地係までお知らせ下さい。東八事霊園
の方は管理会社(株)名古屋浄苑(052-831-1370)まで
お問い合わせください。

御父のいつくしみに支えられて

10月の教会暦

- 1日(土) 聖テレジア(幼いイエスの)
おとめ教会博士(記)
年間第27主日
聖フランシスコ(アシジ)
修道者(記)
ロザリオの聖母(記)
年間第28主日
聖テレジア(イエスの)おとめ教会博士(記)
年間第29主日
聖イグナチオ(アンチオケ)
司教殉教者(記)
聖ルカ福音記者(祝)
年間第30主日
※世界宣教の日(献金)
聖シモン 聖ユダ使徒(祝)
年間第31主日
11月の主な教会暦(主日・祭日など)
1日(火) 諸聖人(祭)
2日(水) 死者の日
6日(日) 年間第32主日
13日(日) 年間第33主日
20日(日) 王であるキリスト(年間第34主日)
待降節第1主日

教区行事予定

- 1日(土) 殉教者顕彰委員会/正義と平和学習会
2日(日) 長浦教会聖信式\* / 宣教司牧評議会\*
5日(水) ブラジル人司牧担当者会議
8日(土) 青年委員会黙想会 / 信徒協理事会

11月

- 9日(日) 小牧教会聖信式\* / 教区中高生会
10日(月) 難民移住移動者委員会・共に生きるための研修会 / 典礼研修会
11日(火) 樹の会
13日(木) 教区顧問会\* / 司祭評議会
15日(土) レジオ名古屋クリア
16日(日) 富山ブロック大会ミサ\* / 愛岐B会議 / 富山B信者大会
20日(木) 司祭月集\* / 青少年部会議
22日(土) 青年委員会 / JCN A
23日(日) 東山教会聖信式\*
25日(火) 北陸ブロック司祭会議\*
27日(木) 司祭評議会\*
29日(土) 典礼委員会
11月
6日(日) 豊橋教会聖信式\* / 教区東八事第二墓地合同追悼ミサ
8日(火) 難民移住移動者委員会 / 樹の会
12日(土) ポーイスカウト・ガールスカウト担当者会議\*
13日(日) 春日井教会50周年\* / 三河B会議 / 教区中高生会
19日(土) レジオ名古屋クリア
20日(日) 聖書週間
20日(日) いくつかの特別聖年閉幕ミサ(布池教会) \* / 城北B会議 / 城南B会議
22日(火) 愛知県キリスト教連合会
23日(水) 信徒協研修会 / 共助組合地区協・共助の集い
24日(木) 司祭月集\* / 教区顧問会\*
26日(土) 青年委員会 / 典礼委員会

10月

- 27日(日) 正義と平和学習会 / JCN A
27日(日) 三馬教会聖信式\* / 城東B会議
3日(月) 日本カトリック難民移住移動者委員会 / 子どもと女性の権利擁護のためのデスク
6日(木) 常任司教委員会
7日(金) 臨時司教総会
10日(月) 12日(水) 難民移住移動者委員会全国研修会
18日(火) 南山学園評議員会
29日(土) 30日(日) 大阪教会管区青年の集い
11月
2日(水) 南山高校講演
8日(火) 日本カトリック難民移住移動者委員会
9日(水) 10日(木) 社会司教委員会
11日(金) 常任司教委員会
14日(月) 17日(木) 日韓司教交流会

告知板

福信館便り ☎052(935)7180
◆10月の炊き出し
木6日東山、13日布池、20日聖霊・南山・樹の会、27日城北橋
金7日喜望の会、14日南山、21日布池、28日長浦
小教区のバザー日程案内
10月9日(日) マックバザー
10月16日(日) 岐阜教会
10月23日(日) 南山教会
10月30日(日) 熱田教会
11月20日(日) 恵方町教会



地球のあちこちで皆が不思議なゲームに熱狂中
道そのものを使え
肉眼で見えない
モンスターは見えるのだから
これぞ目に見えないモノに
わがかりやすいサンプル?
聖霊が見える
道具誰か発明
しないかな
サタンを
やっつけ
てくれる
天使を
ゲット
できる
道具が
あれば
いい
セイレイGO!!
聖霊や天使が
見えたらそれは別の
意味でヤバい
心磨け
心の目
我々を護ってくれて
聖霊は目を閉じて
探さなきゃだ
しょ

建設費の返済に協力を
551件 28,076,695円
目標額 40,000,000円 (8月末)
達成率 約70.2%
郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

名古屋オルガンの秋2016
マックス・レーガー没後100周年
会場 カトリック五反城教会 ☎052-412-3456
10月23日(日) 15:30
歌曲とパイプオルガンコンサート〜M・レーガー後期の作品〜 9つの作品 OP129オルガンソロ、他
岡真理子(Sop)、吉田文(Org)
11月13日(日) 15:30
パイプオルガンコンサート〜レーガーの弟子たち〜
オルガンの作品 OP63より 他
Org: トーマス・マイヤー=フィービヒ、吉田文
10月9日に特別講座が朝日カルチャーセンターでも行なわれます。

講演会のお知らせ
日時 11月23日(水・祝)
講演: 午後1時〜3時、質疑応答: 3時〜4時、ミサ: 4時〜5時
テーマ 「身に染みる典礼」
講師 市瀬英昭(神言修道会司祭) 師
会場 カトリック南山教会マリア館
入場 無料
質疑応答の時間も十分に取ってあります。
神父様のご参加は大歓迎です!この機会をご利用頂き、皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加下さい。

神言会多治見修道院・黙想会
閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を!
10月15日(土) 10:00〜16日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは言われた「実に神の国はあなたの方にある」と(ルカ17の21) 対象: 信徒
11月12日(土) 10:00〜13日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは言われた「私が来たのは罪びとを招くためである」と(マタイ9の13) 対象: 信徒
12月3日(土) 10:00〜4日(日) 16:00 指導: 及川神父
イエスは言われた「恐れるな、あなた方は沢山の雀よりまさっている」と(マタイ10の31) 対象: 信徒
※申込み方法、宿泊費、食事、謝礼などは多治見修道院研修センターにお尋ねください。☎0572-22-2038、携帯090-7696-8089、Fax 0572-22-2076。多治見研修センターの営業時間は午前9時〜午後4時半まで。

マザーテレサ列聖感謝ミサのご案内
教皇フランシスコは9月4日、コルカタの福者テレサを列聖し、新聖人の勇気と貧しい人への愛をたたえました。名古屋教区では下記の通り列聖感謝ミサを捧げます。
日時 11月3日(木・祝) 14時〜
場所 カトリック布池教会
司式者 ミカエル松浦悟郎司教
共同司式をされる神父様は白のストラをご持参ください。
連絡先 神の愛の宣教師会 ☎052-441-5141
担当 Sr マリア・ローザ

秋のマックバザー イベント
日時 10月9日(日) 10時40分〜13時30分(ミサ終了後)
会場 カトリック城北橋教会
名古屋市北区金城1-1-57
内容 (食券の引き換えは12時00分まで) (現金での食事でもできますので一般の方も多数参加をお待ちしております)
主催 名古屋マック後援会
問合せ 名古屋マック支援バザー実行委員会 ☎052-409-6565 河村

2016年大阪教会管区特別企画
司教と青年達は出会い、そして WaiWai 語る3
「いつくしみ うけいれ ゆるし」
〈父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄って首を抱き、接吻した〉ルカ15:20
日時 10月29日(土) 14時開始 (13時30分受付開始)
30日(日) 15時終了予定
場所 小林聖心ロザリオヒル (宝塚市塔の町3-133)
対象 18歳〜35歳の青年男女 (高校生不可)
募集人数 100名
参加費 5,000円
主催 大阪教会管区司教団
申込方法 申込用紙を各教区担当窓口へ送付(郵送・FAX・メール)
申込締切 10月9日(日)
持ち物 宿泊の用意(風呂有)、筆記用具
問合せ 大阪教区青少年司牧委員会
青少年司牧委員会担当窓口 ☎06-6946-3102
FAX: 06-6946-1345
E-mail: youth@osaka.catholic.jp
たくさんのご参加お待ちしております。

神言神学院オープンハウス2016
祝! 神言神学院落成50周年
日時 10月23日(日) 10:00〜15:00
場所 神言神学院 名古屋市昭和区八雲町70-9 ☎052-832-2082
内容 10時より感謝ミサ
基調講演「養成における正義と平和の取り組み」
講師 成井大介師
記念植樹
院内ツアーやパーベキュー昼食等。

訂正
教区ニュース8・9月号1面の金・銀祝の記事で、中根貞美さんが代表してお礼の言葉を述べたと掲載しましたが、正しくは薄島和子さんでした。訂正してお詫びいたします。